

教育センター学びの丘長期研修員研修の概要について

田辺市立高雄中学校
教諭 福田 理 紗

和歌山県教育センター学びの丘における長期研修員研修は、教育に関する専門的・技術的事項について修養を積み、教員としての資質能力を高めるとともに、今日的教育課題解決のための研修・研究を行い、その成果を広く学校現場に還元することを目的とし、実施されている。言うまでもなく、教員は絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。研究とは「物事を詳しく調べたり、深く考えたりして、事実や真理を明らかにすること」、修養とは「知識を高め品性を磨き、自己の人格形成につとめること」(『大辞泉第2版』2012, 小学館)とある。

今回、長期研修員研修を「自己の専門性をより向上させるための研究と、教員としての資質を広く高める修養の機会(下図参照)」として捉え、1年間研鑽を積むこととなった。研修期間中は、センター等が実施する多岐にわたる研修講座や指導主事等による「研修員研修」の受講、所属校における学校課題解決のための校内研修への参加等をとおして、幅広く教員としての資質能力の向上を目指してきた。

この1年間は、長期研修員として学校現場を離れ、研究と修養を重ねることで、これまで手探りでやってきた実践を一から見直す機会となった。

修養では、これから自身に求められるミドルリーダーとしての役割を知り、そのために必要な知識や教員としての在り方について学んだ。専門研修講座の受講等からは、様々な分野の専門的な知識に触れることで、より広い視点から生徒への関わり方や指導の仕方を考えることができた。

研究では、これまでの実践から見えた課題を解決するために、単元の系統性を意識した数学科の授業づくりに取り組んだ。この過程において多くの学びを得るとともに、研究を進めることの難しさも痛感した。しかし、教職5年目の段階で、このような研究ができたことは、とても有意義なことであったと感じている。

様々な学びの中で、教員として更に多くの知識を身に付け、実践を積むことの必要性を実感した1年間であった。今後は、この長期研修で得たことを学校に還元するとともに、研究を進めていく中で新たに浮かび上がった課題について更なる研究と実践を行い、自身の教員としての力量を高めていきたい。

なお、自己の専門性を向上させるために、年間をとおして行った研究については、別途「研究報告書」としてとりまとめることとする。

段階	第1段階 基礎期	第2段階 向上期	第3段階 探究期	第4段階 充実期	第5段階 修了期
月	4月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～1月	2月～3月
研究	・研究テーマ、方向性を設定し、第1回報告会で発表	・所属校での授業研究に向けた単元計画、資料等の作成、模擬の授業実施	・授業・研修研究計画を立て、第2回報告会で発表 ・授業研究の実施	・授業研究で収集したデータ分析 ・教育センター学びの丘研究報告会で発表	・研究報告書、資料の作成
研修	所属校研修「所属校との連携・研修成果の還元」				
養	■「授業力」「組織開発力」「研修力(学び続ける力)」向上トレーニング ■専門性の向上を目指す専門研修講座等受講 ■初任者研修、10年経験者研修等聴講 ■学びの丘指導主事等による研修員研修				

図 研修の概要